

姉妹 1カ月ぶりの風呂

子ども 貧困

6畳ほどの面談室に、すえた臭いが広がった。
2年前の9月。関東地方にあるDV被害者のシェルターの職員は、39歳の母親と7歳の長女、4歳の次女

を迎えた。

差し出したオレンジジュースを、姉妹は一気に飲み干した。白とピンクの長袖シャツはあかで灰色に変わり、頭にはシラミがいた。

一家の手荷物は、ランドセルとポリ袋二つ。サイズの合わないシャツ、穴の開いた靴下や下着が、汚れたまま詰め込まれていた。

風呂は約1カ月ぶりだという。翌日から一緒に入り、姉妹の髪をとかし、数百匹のシラミをつぶした。

「お姉ちゃん、もうこれでいじめられなくなるね」。次女がそう言うのを何度も

聞いた。

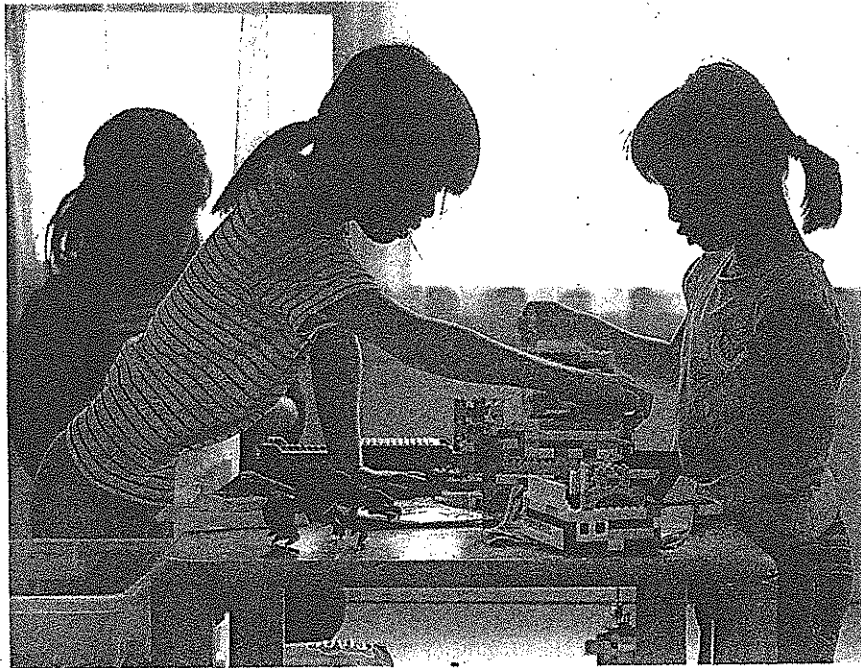
いま、3人は母子生活支援施設で暮らし、自立を模索する。

35面に続く

日本の子どもの6人に1人が「貧困」

だという。貧困ゆえに多くのことをあきらめ、未来への選択肢を狭められ、社会から孤立しがちな子どもたちの割合は年々増えている。貧困の現場を取材し、支援のあり方、制度の課題など解決の糸口を探るシリーズ「子どもと貧困」を始めます。

「毎日同じ服」娘の涙



ブロック遊びをする姉妹。「子どもたちがのびのび遊べるようになったのが何よりうれしい」と母は話す一筋野健太撮影

子ども貧困

1面から続く

娘と一緒に保護されるまでの暮らしをめぐり、母親(41)は振り返って語る。

車賃など10年で10回以上転居した。年収は200万円前後。家賃や光熱費以外は酒やたばこに消え、自分の事務職の給料などでも足りていない。

9年前に長女が生まれてから、「頭が悪い」「ダメな女」などと毎日なじられた。洗濯物がたためない。ご飯を作りながら、子どもに気を配れない。酒が入ると、胸ぐらをつかまれ殴ら

れた。後に分かることだが、母親には二つのことが同時にできない。「広汎性発達障害」などがあつた。

6年前に次女が生まれた後、「能力不足」との理由で解雇された。次の職が見つからず、家計は悪化。夫の失業で約2年間生活保護も受けたが、夫が再就職すると打ち切られた。夫は

給料を家計に入れず、月約4万円で生活した。長女が小1になったころから電気、ガス、水道のどれかが止まるようになった。

朝食はパン1枚。夕食はご飯と冷凍キョウザが納豆。夏休みの学習保育のお弁当は、おにぎり1個だけだ。「おなか痛い。今日は休む」。嫌がる長女を、集団登校の待ち合わせ場所に引っ張っていく日も増えた。そんな日は保健室登校にな

月4万円薬買えず ■DV受け施設へ

ながり、夫とは別れた。「うちのことなんてなかったよ。学校もおうちも楽しかったんだよ」。そんな長女の言葉を、母は自分への気遣いだと推し量る。

3人で食卓を囲むようになった。ときどき姉妹が職員に「味見して」と料理を差し入れる。「よくできたね」と褒められると、跳びはねて喜んだ。「ここがいい。職員さんや他の子もいるから」と長女は言う。

親の低所得リスクは子に

首都大学東京・阿部彰教授



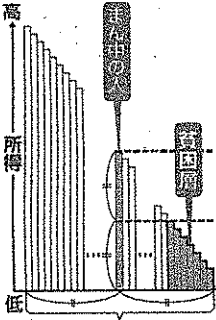
子どもの貧困に詳しい首都大学東京の阿部彰教授に現状や課題を聞いた。親の経済状況でいかに不利益を背負った子どもが、大人になっても貧困か

ら抜け出せない連鎖が広がっている。低所得の背景にある非正規労働は拡大している。親自身が抱える困難もある。労働政策研究・研修機構の調査では、子ども時代に親の生活保護受給や離婚、虐待、父との死別を一つでも経験した母親は、未経験の母親に比べて貧困率が約2〜3倍だった。母子世帯

の母親のうち傾向も配偶者のいる母親の2〜3倍だ。病氣やうつ、失業、離婚などが一つでも起きると、今そこでない人も貧困になりうる。要因が複数になると深刻な事態に陥りやすい。子どもは、人権の観点から言わざるを得ないほどの衣食住の不足、不健康、低学力、孤立やいじめ、非行、不登校などのリスクにさらされる。日本ではこうした問題について何十年も親の貧乏やしつけなどの面から論じ、背後にある貧困をきちんと直視してこなかった。

将来の社会の担い手である子どもの貧困を放置すると、社会的損失につながる。児童手当の拡充など経済的支援は必須だ。そのうえで、教育や医療面での支援など、親を含めた包括的対策が求められている。(聞き手・中塚久美子)

貧困率とは
世帯収入から国民一人ひとりの所得を子どもを含めて試算し、順に並べたとき、まん中の人の所得の半分に届かない人の割合



子どもの貧困

厚生労働省によると、日本の子どもの貧困率は16.3% (2014年発表)で、過去最高を更新している。実数換算すると約328万人。ひとり親など大人が1人の家庭に限ると54.6%と、先進国でも最悪の水準に達する。中でも深刻なのは母子世帯だ。母子世帯になる原因の8割は離婚で、養育費が払われているのは約2割。8割の母親は働いているが、同居親族も含めた年間世帯収入は291万円 (10年)。

子どもの貧困についての意見をasahi_forum@asahi.comで募集しています。10月中旬に朝日新聞デジタルでアンケートを実施する予定です。

10/10 57歳